

20対建 第 173 号  
平成20年10月 8日

国土交通省  
道 路 局 長 様

対馬市長 財 部 能



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

標記の件について別紙のとおり提出致しますので、よろしくお願いします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

長崎県対馬市

内地(都会)においては、道路もある程度整備がなされているが、地方(特に離島)においては未だ未整備区間が多い、今後の道路財源の確保については、もっと地方に目を向けてほしい。

地域間連携道路の整備については、十分ではないが、それなりに整備は行っているところであるが、地区内の道路は、殆ど未整備である快適な暮らしを支える生活道路として、地区内道路の整備の制度事業を要望したい。

②-1 地域の現状と抱える課題

〇〇都道府県〇〇市町村

○ 現状

地方(特に離島)においては、内地(都会)みたいな公共交通機関も少なく、何か行動を起こすには、自家用車が不可欠であり、1家族2～3台保有しているのが現状であり、自家用車への依存度は、非常に高い。

しかしながら、道路整備においては、費用対効果が不可欠であるが、人口の少ない地方(特に離島)は、費用対効果が課題となり、補助事業での整備が難しく思うような道路整備が出来ないのが現状である。

道路を整備する上では、用地の取得は、不可欠なものである、用地を取得する上で、現有の権利者には、承諾を頂くものの相続登記がなされていないうえ、共有名義が多く、所有権移転登記が出来ないのが、実情である。

対馬島は、離島特有の地形(急峻な地形)であるとともに、自然動物(対馬ヤマネコ等)、自然の景観を有する島である。

○ 課題

補助事業について、離島においては、本土と同様の採択基準では、非常に厳しい状況であるが、離島特有の採択基準とか緩和対策等検討出来ないものか

公共事業においては、所有権移転登記の優遇措置が出来ないものか。

急峻な地形であるため、道路整備には、トンネル、橋梁等の整備が不可欠であるとともに、自然及び自然動物と調和した道路を整備することが望まれるが事業費が増大となる。

対馬島は、縦に長い島であるがため、島内広域交流を支える道路として、国道の整備、国道へのアクセスする幹線道としての主要地方道・県道の整備、地域間を連携する道路として市道の整備、快適な暮らしを支える生活道路として、地区内道路の整備をするとともに、対馬特有の自然及び自然動物と共存できる道路整備をしていきたい。